

保護者、教職員の皆様へ

日本では理工系の女子学生・女性研究者が少ないことが課題です。

本学はこれまでも山大サイエンスカーによる理科実験等に取組んできました。また、山形県は、多様な分野での女性の活躍(ウーマノミクス)を推進しています。

山形大学は山形県教育委員会はじめ県内の関係機関と連携し、これまでの取組の成果を生かしながら、県内の女子中高生の理工系進路選択を支援しています。

理工系分野の女性研究者・技術者を確保するためには、中学校・高等学校において、科学技術に女子生徒が興味を持つような機会を増やす必要があります。

また、進路選択の際には保護者や教員等の身近な人から影響を受ける場合が多いことから、本人だけではなく、理工系分野への進路選択に関する保護者や教員等の理解促進が必要とされています。

このプロジェクトに対する保護者や教職員のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

女子中高生の理工系の進路選択の心強い支援者になっていただければ幸いです。

出前講座をご希望の場合は、本事業HPの女性研究者一覧を参考にして検討いただき、下記にご連絡ください。

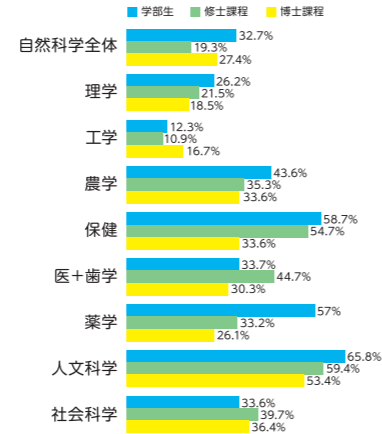
令和3年度から施行された国の「第5次男女共同参画基本計画」に次のように記載されています。

女子学生に対し理工系分野の進学に関する情報を提供し、科学技術分野での活躍の魅力を伝えるなどして理工系の研究者人口を増やすことを国が率先して取り組むことが求められる。

女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成のため、大学、研究機関、学術団体、企業等と連携し、女子児童・生徒、保護者及び教員に対して、理工系の進路選択がどのようなキャリアパスにつながるかについて十分な情報や体験を提供する。

大学と小・中・高等学校が連携して授業開発・授業研究を行う際、男女共同参画の視点にも配慮するよう促す。

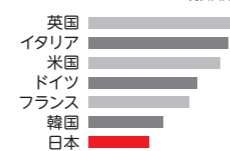
日本の大学の学部、大学院修士課程・博士課程における女子学生割合 (備考)「学校基本調査」(平成25年)を基に文部科学省作成



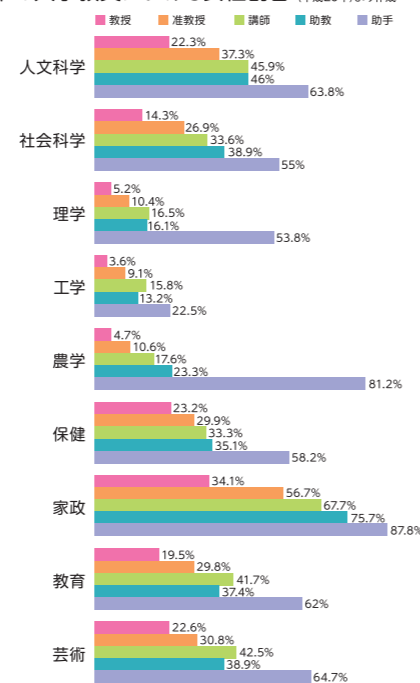
米国の大学における自然科学系分野の女子学生比率 (備考)NSF「Science and Engineering Indicators2014」より



世界の女性研究者割合 (備考)内閣府男女共同参画局平成29年版男女共同参画白書データよりJSTが作成



日本の大学教員における女性割合 (備考)文部科学省「学校基本調査」(平成26年)より作成



<https://yumemirai-girlsproject.aiyweb.com/business>



5 ジェンダー平等を実現しよう 人の役に立つ仕事をさがそう ヤマガタ 夢★未来Girlsプロジェクト

山形県内の中学生のみなさんへ

山形大学から、「ヤマガタ 夢 ☆ 未来 Girls プロジェクト」について、ご紹介します。山形大学はこれまでも山大サイエンスカーによる理科実験等に取組んできましたが、令和2年度の国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に採択され、2年間にわたってこの事業に取組んできました。

人の役に立つ仕事は、皆さんが知っている以上にたくさんあります。特に、日本では理工系の仕事に進む女性が少なかったのですが、様々な分野で活躍している女性も増えてきました。

◆ このプロジェクトでは、女子中学生や女子高校生の皆さんに、◆
◆* もっと進路に関する視野を広げ、*◆
◆* 人の役に立つ仕事をさがしてほしいと考えています。*◆

そのため、女子中学生や女子高校生の皆さんが理工系分野の学習に対する興味関心を高め、さらに理工系分野への進学・就職に関する理解を深めるため、山形大学の女性研究者や大学院生が中学校・高校を訪問します。男子中高生の皆さんにとっても進路選択に役立ちますので、一緒にプログラムに参加してください。

今後も、皆さんが興味を持ちやすいように工夫した4つのプログラムを山形県全域で提供します。

4つのプログラム

1

県内の中学校(毎年4校)を訪問し、女性の研究者や大学院生が、興味を持ちやすい実験を行う出前講座を提供します。女性の研究者や大学院生と直接に話ができるチャンスです。実験・交流の様子は、エフエム山形のラジオ放送に収録され、ご家族や地域の皆さんにも聞いていただけます。

2

県内の高校(毎年4校)を訪問し、女性の大学院生が探究活動の指導や進路講話を行う出前講座を提供します。女性研究者や大学院生との交流会もあり、進路についての相談もできます。

3

女子中高生と保護者を対象に、女性の研究者や大学院生との交流や実験に参加できるサイエンスカフェを、山形県男女共同参画センターと協力して開催します。

4

県内全ての中学校1年生にパンフレットを配布します。また、SNS、HP、ラジオなどを利用して理工系女子に関する情報を発信します。

「Beらぼ山大サイエンスカー」にてオンエア!

山大サイエンスカーで夢と未来を届けます!



令和3年度の活動の紹介

今年度は新型コロナの影響がありました。山形県教育委員会や山形県男女共同参画センターはじめ、県内の連携機関のご協力の下、感染防止に配慮しながらほぼ計画通りに活動を行うことができました。参加いただいた中学校、高等学校、保護者、一般の皆様のご協力に感謝いたします。

詳細は、ヤマガタ夢☆未来GirlsプロジェクトのHPをご覧ください。

<https://yumemirai-girlsproject.aiyweb.com/business>



開催日	実施場所	取り組み内容	参加者
6/8 ・ 12/22	山形県立 山形西高等学校	講演 講師 柿崎悦子 (男女共同参画推進室 准教授)、 女性大学院生1名・ 山形大学OG	高校3年生198名、 教員2名
7/13 ▼ 12/22	山形県立 東桜学館高等学校	課題探究指導 講師 栗山 恭直(理学部 教授)、 女性大学院生延べ12名	高校2年生延べ170名、 教員7名
7/26	山形県立米沢興譲館 高等学校	出前授業 <講演と女性研究者・ 女性大学院生との交流会> 講師 黒谷 玲子(工学部 准教授)、 女性大学院生6名	高校1年生50名、 高校2年生10名、 教員10名
9/1	山形県立 山形北高等学校	講演 講師 柿崎悦子 (男女共同参画推進室 准教授)、 女性大学院生1名	高校2年生200名、 教員10名
10/2	山形市 遊学館	女子中高生のための サイエンス・カフェ <実験・女性研究者・ 女性大学院生との交流会> 講師 河合 寿子(理学部 助教)、 野村 真未(理学部 助教)・ 女性大学院生4名	小学生1名、 中学生4名、 高校生6名(親子3組)、 他2名



▲ 6/8 山形西高校の講演会



▲ 7/26 米沢興譲館高校の交流



▲ 10/2 サイエンス・カフェ

受講した生徒の感想から

自分の進路について考え直すきっかけを作ることができました。

女性の活躍のことを知れて良かったです。

進路について悩んでいたけど、大学院生の方々の声をきいて、とても参考になりました。

先輩の話がとても参考になった。

一つの職業にも様々な学問が関わっていることを知りました。

実験では初めて知ることが多くとても充実した時間でした。

理工系の仕事で活躍している先輩女性へのインタビュー



アイジー工業株式会社勤務
山形県出身
理工学研究科修了
岩田 弘絵 さん

特許には、理系の知識が必要不可欠

Q1 中学生時代はどんな生徒で理科が好きでしたか?どんな将来の職業を考えていましたか?

活発な中学生だったと思います。テニスが好きで、休みの日は勉強する時間よりもテニスコートにいる時間の方が圧倒的に多かったです。そのため、クラスで一番真っ黒に日焼けしているような中学生でした。もちろん一番好きな教科は体育で、将来の夢は体育の先生になることでした。しかし、学年が上がるにつれて理科も好きになり(特に生物系の分野)、3年生のときには体育か理科の先生になりたいと思っていました。

Q2 高校での文理選択時でどう判断しましたか?その理由は?

相変わらず将来の夢は、体育か理科の先生だったので、理系一択でした。理系に行けば、体育系にも理系にも進めると考えたためです。理系に進学した人が履修する生物IIや数学IIIという科目は本当に面白く、当時の選択は間違っていなかったと思います。授業についていくのは大変でしたが、「なんでこんな問題が解けないんだー!!」と先生にたくさん怒られながら勉強したことは、いい思い出です。

Q3 現在の職場での楽しいところや面白い点などのやりがいを教えてください。

現在は研究開発部で知的財産に関わる仕事を担当しています。特許であれば文章で、意匠は図面で、商標はロゴや文字を使って、目には見えない「権利」という形で、開発者たちのアイデアを保護する仕事です。よく見かける©や®も実は知的財産が関わっています。法律が相手の仕事ですので、一見すると文系の仕事に見えますが、実は理系出身者が多い仕事なんです。特に特許では、技術的な内容を文章から理解しなければならず、理系の知識が必要となる場面が多々あります。自分が出願した内容が権利化され、さらに実際に製品化されたのを見ると嬉しくなりますね。

Q4 中学生へのメッセージをお願いします。

将来のことで悩んでも、好きなもの、嫌いなものの軸さえあれば、どんな環境でも適応できると思います。自分ひとりで考えるのではなく、いろいろな人と関わることで、見えてくる景色もあります。だからこそ私は先生ではなく、会社員という進路を最終的に選びました。これまでも、これから先も、経験するすべての出来事が、未来の自分を作る種になります。ぜひ全力で取り組んでみてください。

7月19日(月)の山形新聞7面 ヤマガタ就活最前線 第23回 山形でキャリアアップでも取材記事が掲載されています。

無意識の偏見

(アンコンシャス・バイアス)
を知っていますか?

「男性だから」「女性だから」「理系だから」「文系だから」といった、ステレオタイプ(紋切型)な決めつけを無意識にしてしまうことです。「女性は理系に向かない」「理系の仕事は男性に向いている」などもその例です。思い込みに基づくには、だれかと話し合ってみたり、いろいろな人の体験談を聞いてみましょう。